

# 第7回外濠市民塾 「外濠の将来を考えよう」

## 実施レポート

日時：2016年4月24日(日)

13:00～

場所：土木学会

- 【1】実施概要
- 【2】セミナー
- 【3】交流会
- 【4】参加者の声

## 実施要項

**日時：2016年4月24日（日）13:00～17:00**

**場所：土木学会（四谷 外濠公園内）**

**プログラム： 開場：12:30 開始：13:00**

**1) 導入セミナー**

外濠の歴史と現状について

**2) ワークショップ**

グループにわかれて外濠の将来像について具体的に議論を深め、  
発表・ディスカッションによってそれらの考えを共有します。

**3) 交流会（希望者） 17:30～19:00**

土木学会 AB会議室

**主催：外濠市民塾実行委員会**

**公益社団法人土木学会 景観・デザイン委員会**

## 参加状況

### ワークショップ

参加者：80名

（一般参加：28名、学生参加：31名、実行委員・ファシリテータ：11名）

### 交流会

参加者：47名（内学生32）

## スタッフ・協力

### 外濠市民塾実行委員会

委員長	陣内秀信	（法政大学）
	福井恒明	（法政大学）
	小松妙子	（法政大学）
	高道昌志	（法政大学）
	亀田和宏	（DNP）
	廣田幸司	（DNP）
	渡辺安広	（DNP）

### 協力

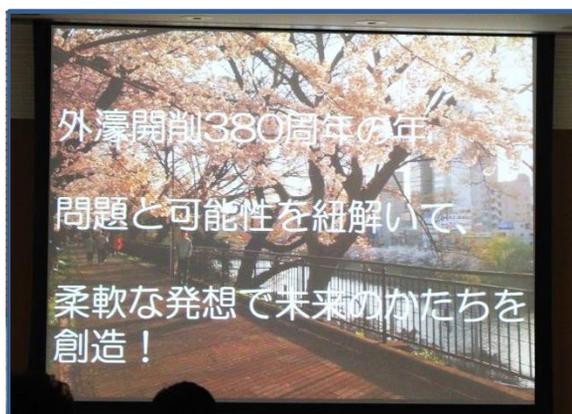
法政大学大学院デザイン工学研究科  
法政大学工コ地域デザイン研究センター  
東京理科大学 神楽坂地域デザインラボ  
中央大学 理工学部都市環境学科 水理研究室  
日本大学 理工学部まちづくり工学科  
DNP ソーシャルイノベーション研究所

### 実施要項

- 13:00~13:10 ご挨拶 陣内秀信（法政大学教授）  
趣旨説明 福井恒明（法政大学教授）  
13:10~13:30 セミナー 高道昌志（法政大学エコ地域デザイン研究センター）

セミナーでは、参加者の皆様にこの後のワークショップでの議論のきっかけにするために、多様な視点をもってもらうために、外濠の歴史や環境、景観、防災等重要なポイントを紹介しました。

### セミナーの様子



## 実施要項

### ■ 実施内容

参加者を7つのグループに分け、各グループに1名のファシリテーターをつけて行いました。

参加者は外濠の良い点、問題と感じていること等を付せんに書き出し、牛込濠～弁慶濠を取り巻く地図に添付。意見を出し合い、グループで共有、ありがたい姿をまとめていきます。

最後に、グループの代表者がグループでまとめた結果を全体で共有して、吉田珠美先生（三輪田学園高校 校長）と宇野求先生（東京理科大学教授）より総括のお言葉を頂きました。

### ■ プログラム

13:30～13:35		チームビルディング	
13:35～13:40	ワーク ショップ①	記入	ポストイットに意見を書く(個人ワーク)
13:40～14:40		発散	地図Ⅰに貼る
		休憩	ファシリがクラスタ化
14:55～15:05	ワーク ショップ②	共有	チーム内でクラスタ共有、個人ワーク
15:05～15:10		記入	ありがたい姿を書く(個人ワーク)
15:10～16:00		発散・共有	地図Ⅱに貼る
16:00～16:15		まとめ	大まかにまとめ
		休憩	ファシリで共有
16:25～16:45	全体共有		
16:45～16:50	総括		

### ■ 参加者

地元町会・自治会所属	7人
近隣大学・高校教職員	3人
学生	三輪田高校 9人
	近隣大学 41人
一般	9人
ファシリテーター・実行委員	11人

計 80人

### ■ ファシリテーター

窪田亜矢（東京大学）
阿部貴弘（日本大学）
杉崎和久（法政大学教授）
斎藤み穂（八千代エンジニアリング）
福井恒明（法政大学）
小松妙子（法政大学）
亀田和宏（D N P）

計 7人

ワークショップの様子



## 全体共有の様子



## 総括



■ 吉田珠美先生（三輪田学園高校校長）

行政だけでまちを変えていくにはもはや難しい時代。住んでいる人、働いている人、学んでいる人などが主体になって外濠を考えていくことは、今後の社会で求められる市民参加型の活動に結びつくはず。そうした場に高校生が参加することは意義深い。（日経コンストラクション 2016/04/28より）



■ 宇野求先生（東京理科大学教授）

外濠の将来を考える上では、意見を一つにまとめる形ではなく、さまざまな意見を包含するゆったりとしたデザインが必要。周辺には地域ごとの歴史があり、住む人は誇りを持っている。それを平均化したのでは、誰もが不満なものにしかならない。（日経コンストラクション 2016/04/28より）

## 交流会の様子

今回の交流会は学生の参加が32名と前回(25名)より多く、地元の方を囲んでワークショップの余韻もそのまま会は大いに賑わいました。また、会運営に参加した法政大学、東京理科大学、中央大学、日本大学の4大学の学生たちも積極的に交流をはかっていました。



## 参加者の声

■参加者から47名のアンケートを回収。回答の集計結果は以下のとおりです。

### 1、ワークショップに参加して、外濠やまわりの地域について新しく発見したことや見方が変わったことがありましたら、教えてください。

■特に多かった意見	
多様な人の意見、視点	14
水質	7
歴史	6
地域の魅力	3
制度等区境にある難点	1

### 2、外濠市民塾について、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、今後実行してほしい企画がありましたら、教えてください。

- 特に多かった意見
  - ・多様な年代、専門の参加者と議論ができてよかった
- 特に多かった提案
  - ・まち歩きを企画してほしい
  - ・取り組みを続けてほしい

### 3、あなたと外濠について教えてください（複数回答可）。

近くに住んでいる	7
近くに住んでいたことがある	0
近くに通勤・通学している	22
近くに通勤・通学していたことがある	9
近くで事業を営んでいる	3
飲食・買い物・遊びなどで付近に来ることがある	6
今まであまり関わりがなかった	4
その他	2
・所属大学（東京理科大）が外濠の活動に関わっている。	
・大学の研究室として。	

### 4、外濠市民塾への参加は何回目ですか。

1回目	29
2回目	10
3回目以上	5

(以下は、設問4で「1回目」の方のみの回答です)

### 5、外濠市民塾を何でお知りになりましたか（複数回答可）。

Facebook	0
パンフレット	0
外濠再生懇談会から	1
外濠市民塾関係者（実行委員・スタッフ）から	13
知人（関係者以外）から	4
その他	12
・学校（または先生、研究室）	10
・町会	1

## 6、参加を決められた理由を教えてください（複数回答可）。

外濠に関心がある	18
外濠周辺地域に関心がある	15
ワークショップに興味を持った	8
その他	3
・ 研究室の意向	
・ 地形	
・ 建築に興味があったので。	

## 7、次回以降の外濠市民塾に参加してみたいと思いますか？

ぜひ参加したい	16
予定が合えば参加したい	10
まだ分からない	3

### ファシリテーターの声

■ファシリテーターからアンケートを回収しました。要旨は以下のとおりです。

	グループ特性について	グループ内での印象的な意見	自由記入欄
窪田先生	・高校生2名+大学生 ・高校生の積極的な態度が良く、議論が収斂していった。	・やれることを具体的にやりたい！ ・地域のためになりたい！	・その後、高校生の方々とメールでやりとりして、実現の方向性を探した。
阿部先生	・高校生+中堅+ベテラン ・皆お互いの意見にしっかりと耳を傾けていた。	・外濠をロケ地に使ったCMやドラマが増えれば、外濠を利活用する意識が高まる。	・WSを踏まえ、専門家がある程度実現可能なプランを提示し、そこから主体形成を図るとよい。
杉崎先生	・地域住民（居住地も違う）+三輪田の学生 ・視点が違うお互いの意見に耳を傾け意見交換。	・外濠の価値、マナーについて情報発信が重要。 ・学生と地域住民の理解を深める活動	・地域の方たちが学生の声を聞き取るという姿勢が強かった。 ・高校生が誠実で意見をしっかりと言える子が多かった。
齋藤氏	・大学生数名+高校生2名+高校教諭1名+地元1名 ・地元は生き字引のように知見を話し、学生は現実的な思考を巡らしていた。	・水質改善に向けた水質の見える化、啓発、モニタリング ・水辺で遊べて、アクティビティが感じられ、修景のよい外濠が目標	・既存のイベントに協力を求め、情報発信していくのがよいのではないか。
福井	・市民塾恒例の参加者(法政・理科大生)+意識の高い地元 ・問題点の共有は容易で様々なアイデアが出た。	・外濠の柵に仮設でバーカウンターを作って飲食する。建築の学生が卒業設計で作る。 ・外濠子供塾	・自分が何をできるか、という点で市民塾の場だけでなく日常的な活動につなげていきたい。 ・三輪田学園と連携した活動は今後継続して取り組みたい。
小松	・学生+地元1名 ・学生が意見を述べ、地元の方がコメントするパターンが多かった。	・飯田橋駅の移設に伴い、まち全体について考えるべき。 ・外濠の魅力発信には、気軽に楽しめるイベントを短いスパンで継続していくことが重要。	・学生間や学生と地域の方のネットワーク強化など、市民塾で応援できればと思った。 ・今回のWSの結果をどう活かすのか情報提供していく必要がある。
亀田	・男子大学生+地元1名 ・学生に問題意識が薄く、単発的な議論になりがち。	・自分事化のために、身近なテーマ設定に持ていったがもうひとひねり。	・2020年にむけて、他の動きと連携・連動させることも視野に入れること。

### ■あるべき姿を議論する素地づくりとして

- ・多様な年代、専門の参加者と議論ができてよかった、次回参加を希望したい、という参加者の声が多数寄せられました。
- ・外濠のあるべき姿を議論する素地づくりとして、一步前進した回となりました。

### ■あるべき姿やありたい姿の集約について

- ・ワークショップは盛況に終わりましたが、あるべき姿やありたい姿にある種の傾向を掴むところまでは至りませんでした。これらを得るためには、参加者たちの外濠に関する知識と意識を底上げするなど幾つかの施策について、検討する価値がありそうです。
- ・環境や防災面については専門家による実現可能なプランを題材に、地元の方と学生で議論するのが妥当で、将来どう使っていくかは今回のワークショップの様にこれからの時代を担う学生を中心に地元の方と一緒に議論していくのが妥当と考えます。

### ■外濠を囲むコミュニティの場として

- ・今回の市民塾では、学生らが地元の方を囲みお互いの話を尊重するというコミュニティが成立する場面が所どころ見られた。
- ・7月17日、都心のひとつの生活様式として外濠と関わる「外濠アフタースクール」が、学生主体のメンバーにより立ち上げられました。既存のイベント「キャンドルナイト」や「外濠水上コンサート」、「神田川サミット」など数々のイベントと交流を深め、外濠を取り巻く「一大コミュニティ圏」として価値を高めていきたいと思えます。